

「群馬県子どもまんなか推進プログラム（案）」の策定について

子ども・子育て施策の更なる充実を図るため、群馬らしさを随所に盛り込んだ、新たな群馬モデルとなる施策群「群馬県子どもまんなか推進プログラム（案）」を策定しました。このプログラムにより、現在、策定を進めている「ぐんま子どもビジョン2025（群馬県子ども計画）」を強力に推進していきます。

なお、プログラム案の策定を機に、群馬県として「子どもまんなか応援サポーター（※）」就任を宣言します。県民の皆さんとともに、子どもたち一人一人が大切にされ、全ての人が子どもの育ちを支える社会を目指します。

【子どもまんなか推進プログラム（案）の概要】

1 策定経緯

様々な分野にわたる子ども施策に全庁一丸となって取り組むため、昨年2月に知事を本部長とする「子どもまんなか推進本部」を立ち上げ、全庁を挙げて施策群を検討。今般、令和7年度予算案と併せて「子どもまんなか推進プログラム（案）」を策定。

2 内容

①群馬の未来を担う若者の育成、②全てのこどもの幸福度向上、③子育て世帯の負担軽減、④社会全体の意識・構造改革を4つのテーマに据え、それぞれ施策群を構成。

<主な施策>

- ・デジタルクリエイティブ人材や非認知能力の育成
- ・1歳児保育における「4：1」保育士配置を行う保育所等を支援
- ・朝のこどもの居場所づくり等の群馬ならではのモデル事業を展開
- ・新生児を対象とした先天性代謝異常等検査の公費助成対象に7疾患を追加
- ・私立高等学校に通う生徒のいる中間所得層に向けて授業料支援を拡充
- ・群馬県の暮らしや子育て環境の魅力をPRし、子育て世代の移住を促進

3 事業数・予算規模

- ・新規・拡充事業数 48事業
- ・予算総額 73億4,722万円

（※）子どもまんなか応援サポーター

子ども家庭庁が掲げる、子どもたちのために何がもっともよいことかを常に考え、子どもたちが健やかで幸せに成長できるような社会を実現するという「子どもまんなか宣言」の趣旨に共感・賛同し、自らもアクションに取り組む地方自治体や個人・企業、団体のこと。今回群馬県としてこの趣旨に賛同し応援サポーターに就任。